集会案内

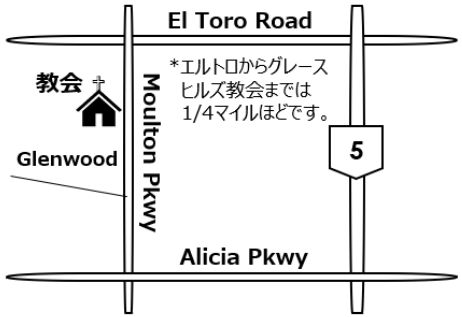
日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地　図



◎石叫■

「子どもが巣立った後に」④

私の家庭には、もう子どもはいないと初めて強く感じたのは、一九八七年十二月でした。子どもは三人ともイギリスに残して日本に戻った直後です。京都のアパートで、三年以上寝かされた荷物を開けました。家財道具と一緒に子どものおもちゃ、ノート、縫いぐるみ、絵などが出てきました。それを見て思わず家内と私は泣きました。とても寂しくなったのです。もう二人きりです。

私は「二人きり」と言いましたが、その消極的な言い方を反省しなければなりません。なぜかと言うと、私達夫婦は自分の子どもから離れた生活をすることによって、本来の夫婦に戻っただけです。つまり、結婚生活では夫婦が中心であり、子どもが巣立っても夫婦の目的と意味は変わることはないからです。

ある社会評論家は、日本の夫婦のあり方を「ちゃんばら」映画の一場面にたとえました。戦いのために二人は背中合わせになっていて、顔を合わせる余裕がありません。家族の健康、子どもの学校や教育費、家のローン返済、会社での人間関係、近所付き合い、転勤、単身赴任などの敵が向かってきて、顔を合わせる時間はほとんどないままで生活は続きます。そのうちに敵は少しずつ減っていきます。子どもが学校を卒業し、就職し、結婚します。ローンの返済は終わり、会社を定年退職します。戦いが終わって二人きりになります。ちゃんばらが終わって、美しいシルバーライフが始まるはずなのに、背中合わせの生活が長すぎたので、相手と一緒にいることさえも嫌うようになります。それは共に励まし合い、話し合い、祈り合うはずの夫婦の人格的な心のふれあいがなかったので、結婚の真の意味と目的がどこかで失われてしまったからではないでしょうか。（パトリック・マケリゴット著『大きな緑の木の下で』から抜粋）

「初めに言（ことば）があった。言は神と共にあった。言は神であった」（一・1）とヨハネ福音書の冒頭にある。「言」とはイエスのことであり、「共に」には顔と顔を合わせるという意味がある。創世の初めから、父なる神と子なるイエスは、お互いを見つめ合う一体関係だった。人間関係の原点がそこにある。夫婦関係も同様に、絶えずそこに戻ることが大切なのだ。「二人きり」になっても日々互いを見つめ合い、絶えずことばを交わす関係でありたいものである。

Rev. Tsukasa Sugimura

ホームページ
www.irvinenihongokyokai.org
榊原宣行牧師
電話(714)827-6244
Eメール：nobu@occc.org
杉村宰牧師
電話（714)527-1456
Eメール:sugimura1950@gmail.com

「私達の教会の歩み」

２００５年９月１８日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ２８：１８－２０）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。